

□ 要請番号 (JL56016B08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ベナン	G158 理科教育		個別	交替 3代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

高等教育・科学研究省

2) 配属機関名 (日本語)

ナチテングー中学高校教員養成学校

3) 任地 (アタコラ県ナチテングー市) JICA事務所の所在地 (コトヌー)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約 10.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、2009年に開校した中学校及び高等学校の数学、物理化学、生物学の教員を育成することを目的とした3年制の教員養成学校である。入学資格は高卒で、2015～16年は約500名の学生が在籍している。1年目は同校での研修、2,3年目は現場での実習が増えてくる。年間予算は約4,000万円。
同学校の敷地内には、実験室、パソコン室、グラウンド、図書館、講堂、食堂、学生・教員用宿舎があり、JVも教員用宿舎で生活する。他国の援助は受けていない。2016年3月まで理科教育JVが活動していた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ベナン国における物理化学の現場では、教員の知識・経験不足、実験器具の不足から、板書中心の理論の授業のみが行われ、指導も単調で暗記を指示されることが多く、物理化学教員の指導力の向上、授業の改善が強く求められている。配属先も同様の状況であり、理論中心の授業が行われていることが多く、校長をはじめとした教授達も問題意識を持っているが、実践的な実験の経験が少なく、理論を実証する実践的な実験が少ない。そのような状況下派遣された前任JVは、身近なもので実現可能な各種アイデアを紹介し、高い評価を得た。教員養成校の教授自身や生徒たちに、引き続き物理化学の面白さをつたえるため、配属先からの強い希望で後任要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

開校時間 月～金 8時～12時 15時～18時

1. 教授に対し、身の回りのものを活用した実験のアイデアを提案する。
2. 教授とともに、物理化学実験の授業を実施する。
3. 空き時間等を利用して、理科実験クラブや日本文化紹介等の課外活動を実施する。
4. 近辺の中学校で、現地の教員との協働も可能。

JVは校内の教員宿舎で生活するため、時間外でも教授や生徒との交流も大切にする必要があるが、その分配属先と密な関係を築くことができる。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

フラスコ、ビーカー、試験管、スタンド(フラスコ、試験管用)、温度計、ピペット、PH測定器、電子はかり、純水製造装置等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 校長(博士号所持者)、副校長(博士号所持者)、物理教授3名、化学教授4名、生物学教授9名、化学教授3名、事務所員
(物理教授がカウンターパートとなる。教授は30歳から55歳程度、すべて男性)

学生(18～24歳程度)

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(中学教員(理科))
(高校教員(理科))

[学歴]：() 備考：

[性別]：(男性) 備考：対象がほぼ男子生徒であるため

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：実験を披露するた

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25～35℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】